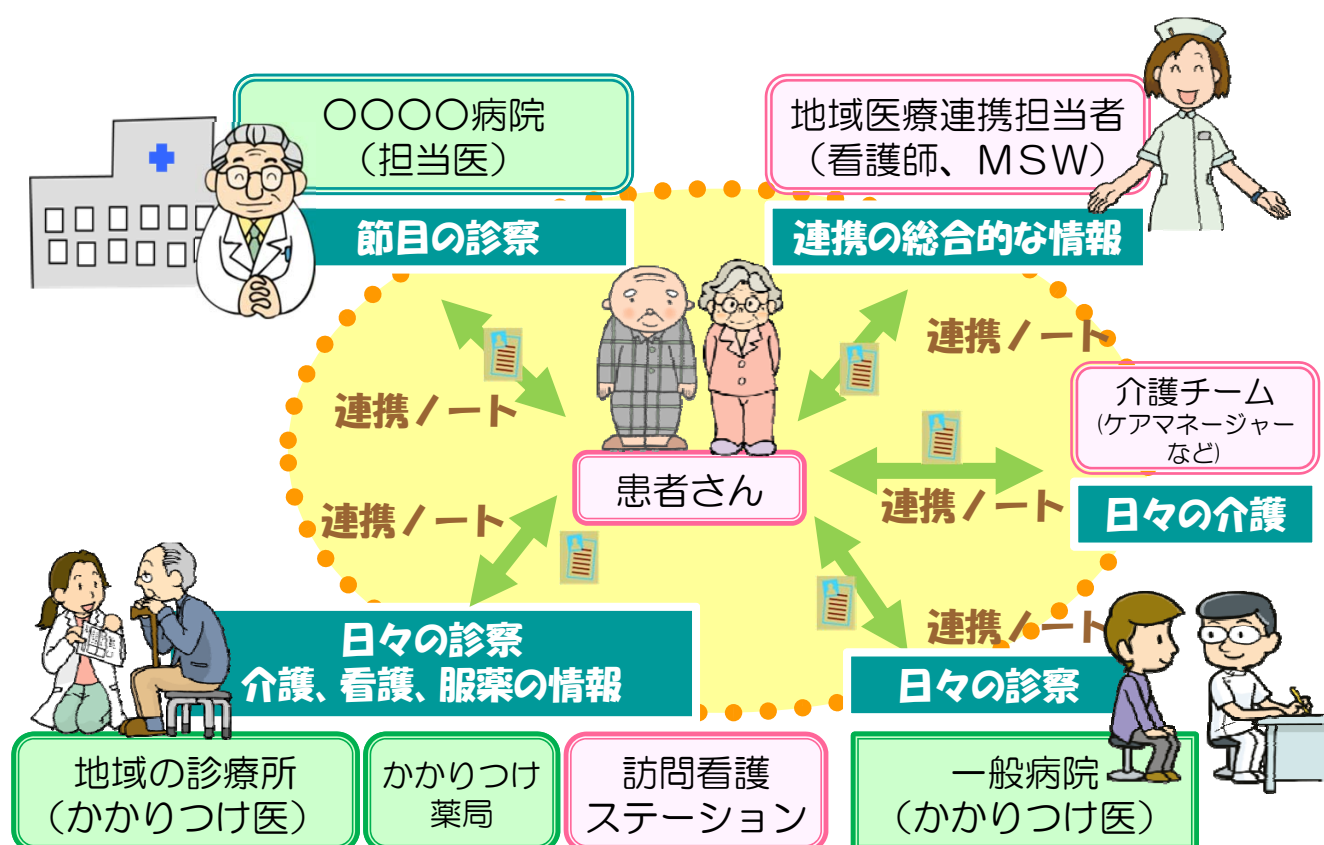


あなたを支える  
「地域連携パス」  
のご案内

〇〇〇〇病院

地域連携パスでは  
互いに連携・分担して、それぞれの特徴を  
活かした医療を提供します



「地域連携」とは、患者さんを中心に地域の医療機関と情報交換を行い、より良い医療と安全を提供する仕組みです。『地域連携パス』は、関係する医療機関が一緒に作った“地域連携計画書”のことです。

# 地域連携計画書(地域連携パス)

地域連携パスでは、かかりつけ医と〇〇〇〇病院とが連携し、役割を分担して患者さんの治療にあたります。

日々の診察と薬の処方をおかかりつけ医、節目の診察を〇〇〇〇病院が担当しますが、治療は共通の連携計画書によって行われるので、同じ診療方針で治療を受けられます。

また、患者さんの診療情報は、かかりつけ医や〇〇〇〇病院などの関係する医療機関で共有しますので、患者さんは必要な治療をスムーズに受けることができます。

大腸がん治療に関する地域連携計画書

		かかりつけ医	〇〇〇〇病院 or かかりつけ医	かかりつけ医	〇〇〇〇病院	かかりつけ医	〇〇〇〇病院 or かかりつけ医
(術後)		1~2ヶ月	3ヶ月	4~5ヶ月	6ヶ月	7~8ヶ月	9ヶ月
		月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
問診	食欲						
	腹部症状						
検査	胸部レントゲン あるいはCT				● (CTが望ましい)		
	腹部超音波 あるいはCT				● (CTが望ましい)		
	大腸内視鏡				◆		
投薬	一般薬	□	□	□	□	□	□
	補助化学療法薬	▲	▲	▲	▲	▲	▲

- 必ず実施します    □ 必要に応じて実施します    ◆ 術前検査不十分の場合に実施します
- StageⅢ大腸がんの場合に実施します    ▲ 補助化学療法施行時に実施します

**診療情報を共有  
同じ診療方針で治療を受けられます**

〇〇〇〇病院  
(担当医)



地域の診療所・一般病院  
(かかりつけ医)

**節目の診察**

患者さん

**日々の診察**

## 患者さんのメリット

かかりつけ医と〇〇〇〇病院とを定期的に受診することで、患者さんの主治医が複数になる（味方が増える）と考えることができます。

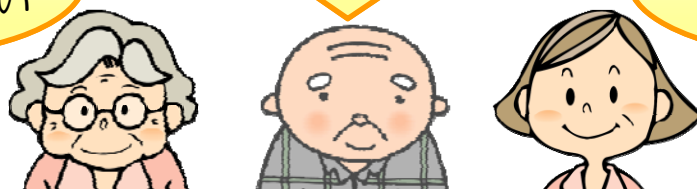
- 異常の早期発見やきめ細かな対応が、複数の担当医、看護師、薬剤師等のチームから受けられます
- 通院時間や交通費など、患者さんの負担軽減も望めます
- 重複した検査・投薬が避けられます

地域連携パスを利用することで、患者さんやご家族のお話をもっとお聞きできるようなものと考えています。

自宅の近くで  
診てもらいたい

ゆっくり話を  
聞いてほしい

検査の重複を  
避けたい



## 地域連携パスの利用

私たちは、地域連携パスが患者さんの療養生活や診療の方針に合っているかどうかを検討し、利用した方が良いと考えた場合におすすめています。

関係する医療機関、患者さん・ご家族と相談しながら運用し、変更・中止の申し出にも応じます。

緩和ケアが必要となった場合には、患者さん・ご家族の状況に合わせて個別の対応となりますが、かかりつけ医を中心とした安心できる療養環境を提供します。

## 地域連携パスの流れ(連携医療機関決定まで)

### 外来受診時



- 入院前から地域での連携診療について説明・相談します

### 入院・治療



- 患者さんに院内パス、地域連携パス、連携医療機関について説明します。
- 患者さんの同意後に、今後の共同診療について連携医療機関と調整を行います。

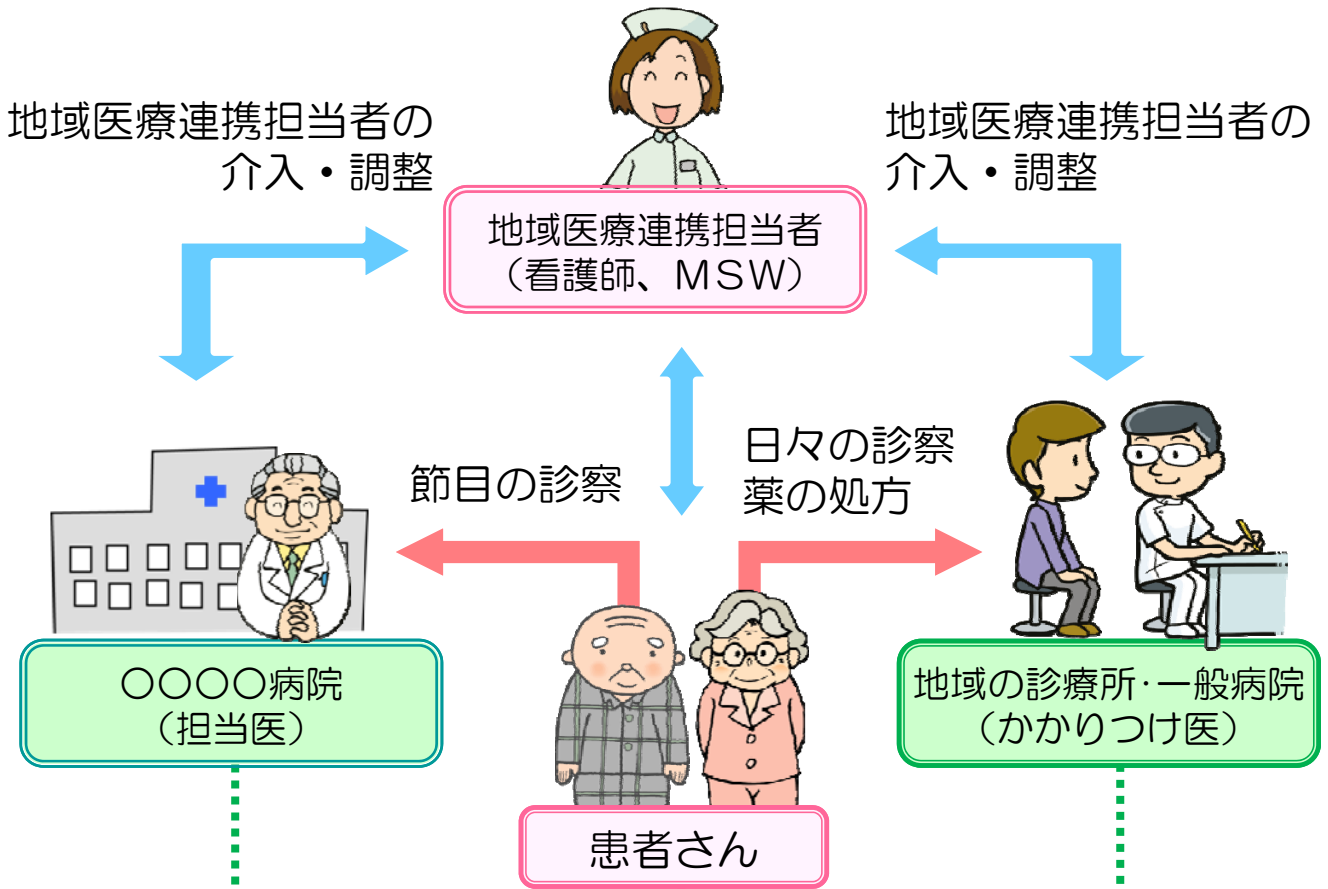


### 退院・連携開始



- 連携医療機関の了解後に、患者さんに連携ノートをお渡しします。
- 退院後の落ち着いた時点（およそ退院1～3ヶ月後）から開始します。
- かかりつけ医（地域の病院、診療所）が日々の診察と投薬を担当し、〇〇〇〇病院が節目（3～12カ月ごと）の診察を行います。
- 血液検査や画像診断などは、患者さんの希望を聞いて、かかりつけ医と〇〇〇〇病院のどちらで行うか相談をします。
- 病状が変わった時や、副作用が強い時などに備え夜間休日にも安心できるような連携の体制を作ります。

# 地域連携パスの流れ(連携医療機関決定後)



1. 診療情報提供書
2. 決定した連携先医療機関の一覧
3. 地域連携計画書

1. 診療情報提供書
2. 決定した連携先医療機関の一覧
3. 地域連携計画書

連携ノートを持つ



連携ノート

1. 私の診療情報
2. 決定した連携先医療機関の一覧と連絡先
3. 地域連携計画書 (患者さん用地域連携パス)

**患者さんの情報を共有**

## 連携ノートの使い方

- 連携ノートには、以下の内容が綴られています。

1. 私の診療情報
2. 決定した連携医療機関の一覧と連絡先
3. 地域連携計画書（患者さん用連携パス）
  - ・ 5年～10年先までの診療の計画をたてたものです。
  - ・ 「いつ・どこを受診するのか」といった予定が一目でわかるほか、検査結果なども記入できるようになっています。
4. 自己チェックシート（任意）
  - ・ 患者さんの手術後の体の状態をチェックする用紙です。
5. おくすり手帳（任意）

- 患者さんの状態や思いは「連携ノート」を通して情報交換を行います。
- 連携ノートは、患者さんと医療機関が連携して患者さん中心の治療を切れ目なく続けるための貴重な資料です。
- 患者さんの個人情報が含まれますので、患者さんご自身でしっかりと管理していただく必要があります。

連携の総合的な情報

看護、介護、服薬の情報



日々の診察

節目の診察

\* 医療機関を受診される際には  
忘れずお持ちください

**ご心配な点があれば、  
まずはかかりつけ医(連携医)にご相談ください。  
かかりつけ医(連携医)から当院へ円滑な受診  
が可能になっております。**

**〇〇〇〇病院 地域医療連携室**

TEL：000-000-0000

紹介患者さんの受け入れ、〇〇〇〇病院に通院中・入院中の患者さんのご相談や退院支援など

**〇〇〇〇病院 相談支援センター**

TEL：000-000-0000

患者さん・ご家族、一般の方、地域の医療関係者の方からのご相談など